

哲學研究

第二十卷 第八册

第三百七十七號

昭和二年八月一日發行

十九世紀前半の佛蘭西畫壇に於ける……………

寫實主義の變遷(四)……………

小林太市郎

カント哲學に於ける神の存在の證明根據としての……………

テレオロギ……………

文學士 淡野安太郎

先驗倫理學の概念と其の一問題……………

文學士 柳田謙十郎

彙報其他……………

京都帝國大學文學部

京都哲學會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
 - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
 - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一、書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌、『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學士																			
植田	狩野	小西	高坂	小島	澤村	高瀬	田邊	高橋	朝永	中井	西田	野上	波多	深田	藤井	松本	和辻	文學士	文學士
壽藏	直喜	重直	正顯	祐馬	村太	武次	邊元	俊乘	三十郎	正一郎	幾多郎	俊夫	精一	康算	健治郎	三文郎	哲郎	文學士	文學士

次 目 號 前

寄贈書籍雜誌……………	カント第三批判序文前稿について……………	辨證法の論理(承前)……………
	文學士 中井正一	文學博士 田邊元
	文學士 唐木順三	

頁	行	誤	正
四〇	二	外表	外衣
四〇	八	根據であり、一度完全境	根據であり、一度完全境
四二	一三	状態であり、「存在」……………	状態であり、「存在」……………
四六	一一	Zerstreung	Zerstreung
四七	五	密接分離なる關係	密接分離なる關係
四九	一一	メフィストとの	メフィストとの
五〇	一四	「Essai」の立場	「Essai」の立場
五三	一二	スゴノーザの idea identi	スゴノーザの idea ideae
五四	六	idea identi	idea ideae
五五	一	理知の究語	理知の空語
六二	一二	そのミステシストにあり、	そのミステシストたるにあり
六三	九	Gods will	Gods will
六六	三	時や背後に、	時の背後に
六六	一三	故であるフランクが	故である。ランケが
六六	一四	すべての爲行は	すべての行爲は
六八	五	「流れる」と云ふ	「流れる」と云ふ
七一	四	ルイスブレーク〇	ルイスブレークの
七一	五	神人合一〇境	神人合一の境
七一	一四	載いた	載いた、

會 告

一、本會へ入會希望者ハ京都市西洞院七條南内外出版株式會社内京都哲學會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候

二、會員ニシテ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務ハ内外出版株式會社内京都哲學會へ御通知被下度候

三、會費ハ振替口座大阪〇六六三番、内外出版株式會社内京都哲學會宛テニ御拂込被下度候

四、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學
文學部内 京都哲學會

註 文 規 定

○ 會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候

○ 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候

○ 振替貯金にて御送金 (振替大阪三二九五番三九三一番東京三九三一番) 内外出版株式會社宛に願上候前金切れの場合に帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候

○ 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

定 價

廣告料

冊	數	定	價	郵	稅
一冊	冊	金	四拾錢	金	壹錢
六冊	冊	前金	一圓四拾錢	不	受
十二冊	冊	前金	一圓四拾錢	不	受

一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

昭和二年七月廿五日印刷納本
昭和二年八月一日發行
第三百三十七號 第十二卷 第八册

不許複製
禁轉載

編輯者 京都帝國大學文學部内

右代表者 高橋俊乘

發行者 須磨勘兵衛

印刷者 須磨勘兵衛

印刷所 内外出版株式會社印刷部

發行所 京都市下京區西洞院七條南 内外出版株式會社

發 行 所

振替口座 大阪三二九五番 東京三九三一番

本社 京都市下京區西洞院通七條南入
販賣所 東京市日本橋區本銀町三ノ十四 内外出版株式會社

賣捌所 (東京) 寶文館 東海堂
(大阪) 寶文館 上田屋
(神戸) 寶文館 盛文館 參文社
(京都) 共盛社 大瀨書店